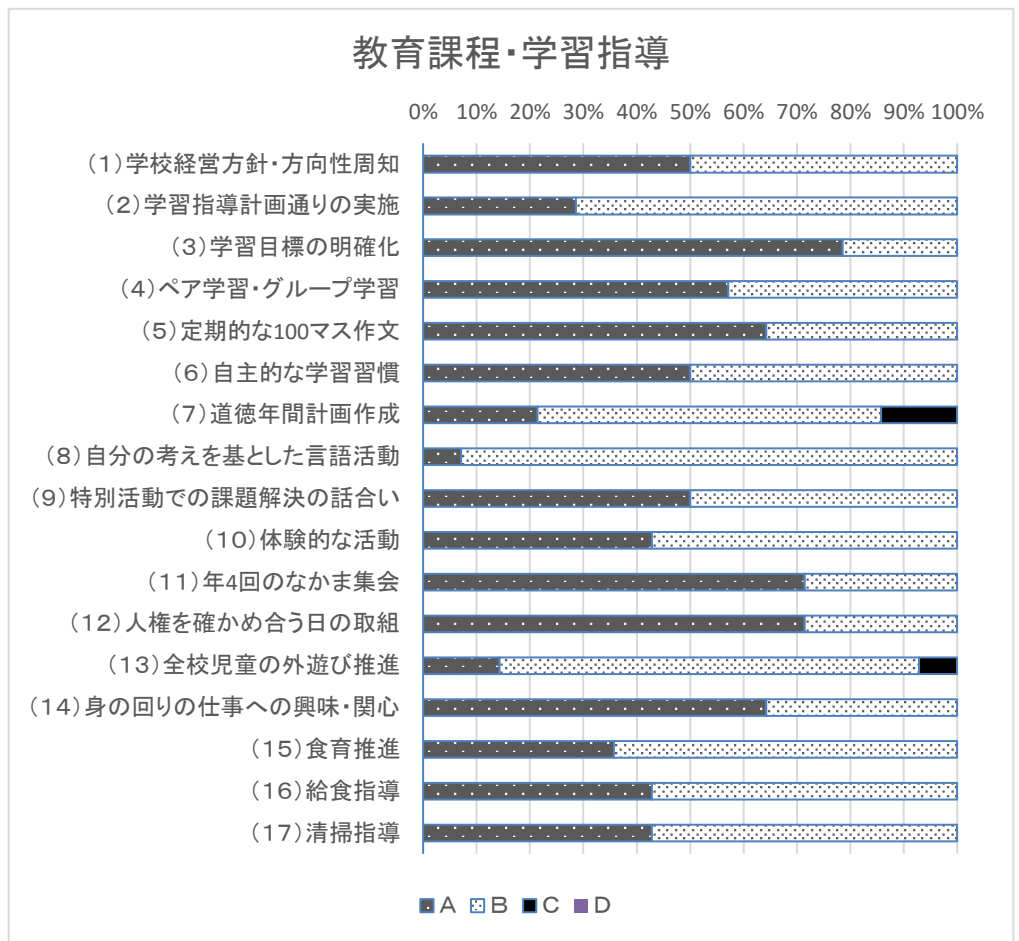


令和4年度 教職員自己評価アンケート

A:極めて達成度が高い C:課題を残している B:概ね達成出来ている D:課題が多く改善が必要				
教育課程・学習指導	A	B	C	D
(1) 学校経営方針・方向性周知	7	7	0	0
(2) 学習指導計画通りの実施	4	10	0	0
(3) 学習目標の明確化	11	3	0	0
(4) ペア学習・グループ学習	8	6	0	0
(5) 定期的な100マス作文	9	5	0	0
(6) 自主的な学習習慣	7	7	0	0
(7) 道徳年間計画作成	3	9	2	0
(8) 自分の考えを基とした言語活動	1	13	0	0
(9) 特別活動での課題解決の話合い	7	7	0	0
(10) 体験的な活動	6	8	0	0
(11) 年4回のなかま集会	10	4	0	0
(12) 人権を確かめ合う日の取組	10	4	0	0
(13) 全校児童の外遊び推進	2	11	1	0
(14) 身の回りの仕事への興味・関心	9	5	0	0
(15) 食育推進	5	9	0	0
(16) 給食指導	6	8	0	0
(17) 清掃指導	6	8	0	0
(18) 教育課程・学習指導改善方法				

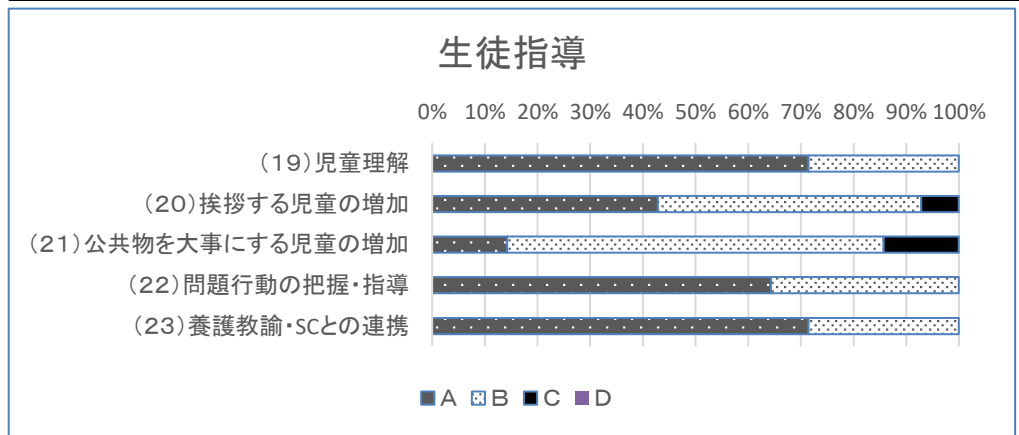
生徒指導	A	B	C	D
(19) 児童理解	10	4	0	0
(20) 挨拶する児童の増加	6	7	1	0
(21) 公共物を大事にする児童の増加	2	10	2	0
(22) 問題行動の把握・指導	9	5	0	0
(23) 養護教諭・SCとの連携	10	4	0	0
(24) 生徒指導改善方法				

保健・安全指導	A	B	C	D
(25) 正しい姿勢の指導	1	11	2	0
(26) 健康状態の把握と適切な対応	5	9	0	0
(27) 消防署や警察署と連携した訓練	10	4	0	0
(28) 火災・自信・不審者対応訓練	7	7	0	0
(29) 定期的な下校指導	7	7	0	0
(30) 安全点検・整備・改善	4	10	0	0



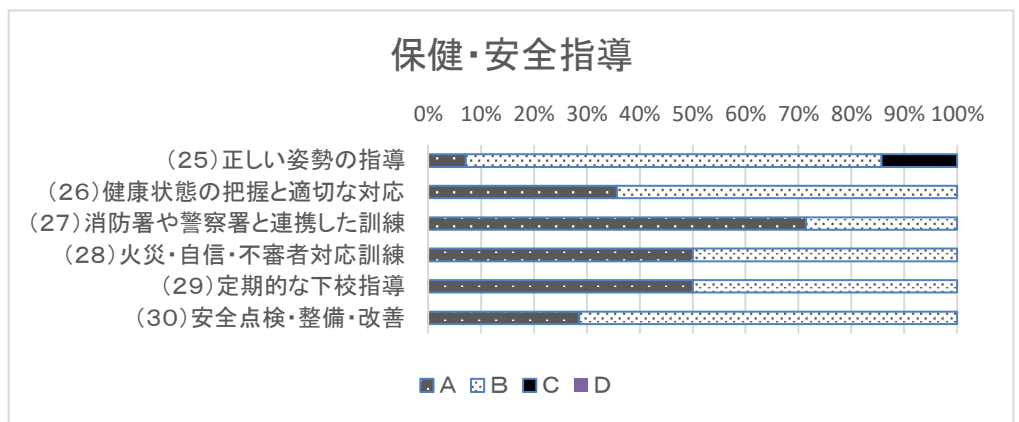
(18) 教育課程・学習指導改善方法

- ・全校遊びの工夫については、何を目的に（本校の体力面での課題など）取り組むのかを明確にしながら進めると、より意味のあるものになっていく。体力向上を考えるのであれば、全校遊びだけでなく、外遊びの促進や体育の授業での準備運動の工夫などを考えると良いかもしれない。
- ・課題解決のために児童と活動する時間を確保することが難しい。
- ・概ね達成できていると思います。
- ・食育に関して、給食中は感染症対策のための黙食に注力しているが、食事や栄養のマナーなどについての指導も出来たらいいと思う。
- ・自主学ノートに熱心に取り組む姿がみられたが、学力の向上に繋がったかは疑問が残る。ノートの使い方、文房具の選び方、文章の書き方など、基本的なところを校内で共有することも必要ではないかと思う。
- ・重点課題を設けていかないと時間的に厳しい。



(24) 生徒指導改善方法

- ・児童ひとりひとりの事に対して、学校職員全員が共通理解を図り見守っているのので、特に改善する必要はないと感じている。
- ・落書きに関しては、今後も学校全体で取り組んでいく必要があると思います。
- ・SCの業務内容を学校に周知したり、反対に学校での子どもの様子や日々の保健日誌の情報を共有する必要がある。
- ・一部の児童が服装等を守れていないようだが、担任の先生が根気強く指導してくださっている。保護者の理解が難しいので、大変だと思う。
- ・生徒指導についても、「チーム菟田野」として組織的な対応ができています。
- ・繰り返しいろんな機会です話していくことが大事だと思います。



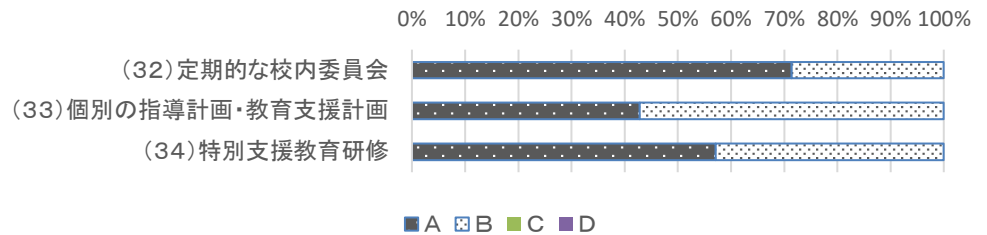
(31) 保健・安全管理改善方法

(31) 保健・安全管理改善方法

- ・下校バスの確認は、各地で置き去りの児童の事故があるため、今後も継続して取り組む必要があると思います。
- ・昨年、力を入れていた姿勢の指導について、特別な保健指導は行っていないので、ほけんだよりに取り上げるなどして継続的に指導を行う必要がある。
- ・手洗いを徹底したいが、水が冷たいので、お湯が出るようにして欲しい。
- ・今年は訓練等の職員研修を、十分に行えた。
- ・休憩時間の避難訓練も実施出来ればと思います。

特別支援教育	A	B	C	D
(32) 定期的な校内委員会	10	4	0	0
(33) 個別の指導計画・教育支援計画	6	8	0	0
(34) 特別支援教育研修	8	6	0	0
(35) 特別支援教育改善方法				

特別支援教育

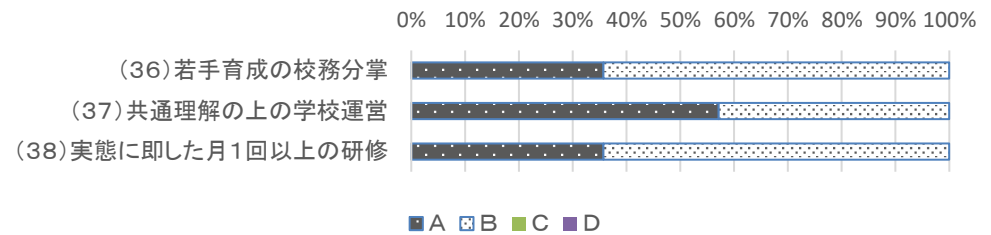


(35) 特別支援教育改善方法

- ・個々にあった指導がなされているとは思いますが、教員の人数が多い方が、更に手厚い指導や支援ができると思います。
- ・今後、通級指導に通う児童の増加に伴い、時間割について考える必要があると思います。
- ・個別の支援計画の目標やニーズを理解する必要がある。
- ・自立活動の指導方法についての研修の機会が欲しい。
- ・情報の共有を、今後も大切にしていきたいと思う。

組織・運営・研修	A	B	C	D
(36) 若手育成の校務分掌	5	9	0	0
(37) 共通理解の上の学校運営	8	6	0	0
(38) 実態に即した月1回以上の研修	5	9	0	0
(39) 組織・運営改善方法				

組織・運営・研修

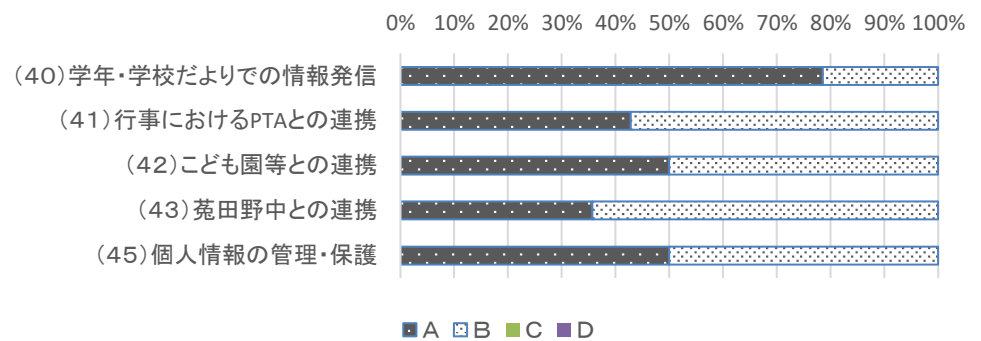


(39) 組織・運営改善方法

- ・今後も会議で、共通理解を図っていく必要があると思います。
- ・研修は、タイムリーな内容のものを計画して実施出来ていると思う。

保護者・地域との連携	A	B	C	D
(40) 学年・学校だよりでの情報発信	11	3	0	0
(41) 行事におけるPTAとの連携	6	8	0	0
(42) こども園等との連携	7	7	0	0
(43) 菟田野中との連携	5	9	0	0
(45) 個人情報の管理・保護	7	7	0	0
(44) 保護者・地域との連携				
(46) 情報管理改善方法				

保護者・地域との連携



(45) 情報管理改善方法

- ・今後も指導要録などは、担任だけでなく管理職とともに確認していく必要があると思います。
- ・個人情報を適切に管理しなければいけないが、緊急時に連絡先をどの教員も直ちに扱える環境について考える必要がある。
- ・個人の携帯電話を使う機会も多いので、仕事用の機器をもっと充実させて欲しい。

(44) 保護者・地域との連携

- ・コロナ禍もあり、3年前のようなPTAの協力体制ではないが、保護者は非常に協力的だと感じる。
- ・今後も、こども園や中学校と連携を図っていくことが大切だと思います。
- ・おたよりなどをHPなどにあげられたら、地域との連携も図れると感じた。
- ・コロナ流行の状況なので、難しいところがある。
- ・形式的なものにならないよう、気をつけたい。
- ・小中連携は、やりっぱなし感があるので、内容ややり方の精査が必要だと思う。
- ・感染症対策との兼ね合いを、今後どうしていくのか検討が必要です。